

防災まちあるきを実施しました！

令和3年度は
第7ブロックで
実施！

令和3年6月13日(日)に梅雨空のもと、第7ブロック(滝ヶ鼻町、末吉町、末之口町、元毘沙門町、新西今出川町)を対象として、お住まいの方と自主防役員で、防災まちあるきを実施しました。



第7ブロックは今出川通から中立売通までを道幅のある七本松通が通っており、建物の更新も進み、翔鷲学区の中では比較的空間の開けたエリアです。しかし、幅の狭い道や木造家屋が建ち並ぶところもあります。災害時、無事に避難ができるよう、まちの安全性向上のため、事前に対策出来ることがないかを確認しました。

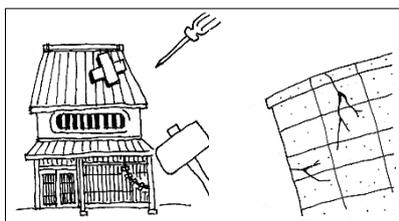
※翔鷲学区ではまちの安全性向上のため、毎年ブロックを変えて、まちあるきを実施しています。

もしも!

に備えましょう!

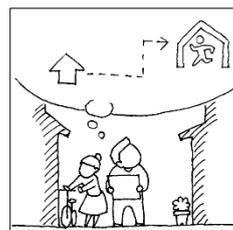
日頃から災害に備えて、不安なところ、改善できそうなところに気づいたら、できることから少しずつ改善しましょう。

自宅から地域の集合場所への避難経路が安全に避難できるか確認しましょう



自宅の耐震性や道に面するブロック塀の安全性を確認しましょう

ご近所で防災に関する話題を日頃から話しましょう

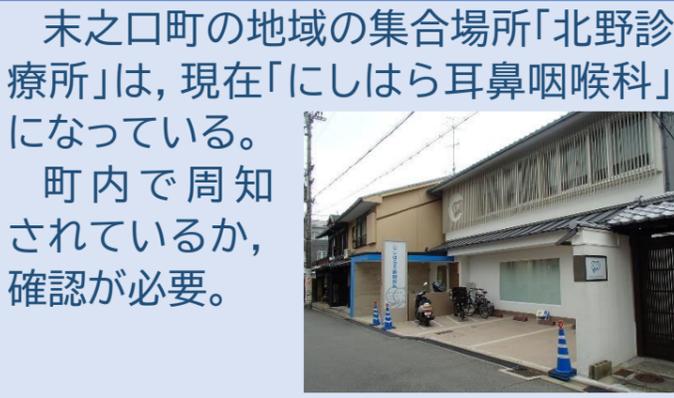


道幅の狭い道や避難扉の前にバイクや植木鉢などを置かないよう、日頃からきちんと整理しましょう

ブロック別計画図



以前から袋路の突き当りに緊急避難扉の設置を働き掛けていたところ、通り抜け先店舗の建替え時に蹴破り扉の設置に至った。



末之口町の地域の集合場所「北野診療所」は、現在「にしはら耳鼻咽喉科」になっている。町内で周知されているか、確認が必要。



道は狭いが北野白梅町にまっすぐ抜けられるため、よく利用される。

末之口町は10年程前に建替えと道路整備が実施された箇所がある。

消火器は、ホームセンターで購入すると古いものを引き取ってくれる。

滝ヶ鼻町北西から駐車場に通り抜けを確保できるようになればいい。



滝ヶ鼻町は道が狭く、エンゼルハウスの跡地利用に際して、周辺道路環境の改善に協力してもらえよう要望したい。

防災ひろば
平成27年度設置。
火事の延焼防止による防災性の向上と普段は地域のコミュニティスペースとして活用。



主なまちあるきの感想

- ・消火栓や路地の再確認ができてよかった。
- ・防災まちづくりには地域と市が情報共有していくことが大切だと、よく分かった。地域を知るいい機会になった。
- ・改善箇所への働きかけは地域と市で連携したい。
- ・駐車場が多く、全体に開けた印象を受けるが、建物等ができることで空地がなくなったり、避難経路の確保が難しくなったりするので、工事等に際してはタイミングを逸せず申し入れるなど対応しなければならない。

記号の意味		
【避難所や地域の集合場所など】	【道路の状況】	【公園や公共施設など】
避難所	幅員 4.0m以上の道路	公園
地域の集合場所	幅員 1.8 ~ 4.0mの道路	公共施設
【緊急時のための設備など】	幅員 1.8m未満の道	寺社
消火栓	袋路 (突き当りが建物)	堅牢建築物
防火水槽	袋路 (突き当りが塀)	空き地・平面駐車場
AED	袋路 (突き当りがドア)	学区界
公衆電話	トンネル路地	ブロック界
公衆トイレ		町界
災害時のみ通行可能な箇所		